



2007年1月
号外
(横浜市旭区版)

民主党プレス民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話 03-3595-9988(代表)
http://www.dpj.or.jp
民主党神奈川県総支部連合会
〒231-0012
神奈川県横浜市中区相生町4-6-9
電話 045-226-2377
http://www.dpj.or.jp



特集

私たちの税負担は、各種控除の見直しや減税の廃止などにより年々増加しています。税制改正によるH18年度・19年度分の税負担の影響についてまとめました。

税制改悪による負担増。もう我慢できない!

昨年に引き続き、平成19年度も税制が大きく変わります!

平成18年度分への影響	平成19年度分への影響
<ul style="list-style-type: none"> ・定率減税の縮減(1/2に縮減) ・生計同一の妻に対する均等割りの非課税措置の廃止 ・高齢者控除(48万円)の廃止(65歳以上) ・公的年金等控除の見直し(縮小)(65歳以上) ・高齢者非課税措置の廃止(65歳以上:経過措置あり) 	<ul style="list-style-type: none"> ・定率減税の廃止 ・所得税から個人住民税への税源移譲(3兆円規模) ・個人県民税の超過課税(いわゆる水源環境税) 平成19~23年度分

1. 高齢者(年金受給者)への影響

年金所得250万円、65歳以上夫婦世帯の税額の変化

	H17年度	H18年度	H19年度
住民税(円)	非課税 0	課税 27,700	50,900
所得税(円)	18,300	37,300	20,700
合計(円)	18,300	65,000	71,600

収入から一定の割合を社会保険料として控除。税率は神奈川県の上乗率を採用。横浜市資料より

左表に示すとおり、税制改正によって平成17年度に住民税非課税だった方がいきなり課税対象となることで、負担が大幅に増加しました。また、介護保険料や国民健康保険料も市民税額を基準に算定しているため、保険料が大幅に増加しています。(激変緩和措置あり) 横浜市の福祉サービスも市民税の課税/非課税を基準としているものが多くあり、この影響は計り知れません。税制改正だけでなく、医療保険改革によって70歳以上の現役並みの所得がある方が窓口で支払う医療費も3割負担になるなど、高齢者の負担増は止まりません。

民主党の主張 → 公的年金控除の引き上げなどにより負担増を是正!

2. サラリーマン家庭への影響

年収500万円、夫婦子供2人世帯の税額の変化

	H17年度	H18年度	H19年度
住民税(円)	68,600	74,300	増 140,100
所得税(円)	95,200	107,100	減 59,500
合計(円)	163,800	181,400	199,600

(子供のうち1人は特定扶養・計算条件は上表とおなじ) 横浜市資料より

これまでも配偶者特別控除の廃止や年金保険料の2017年度までの段階的引き上げなどでサラリーマンの負担は増え続けていますが、今年は定率減税の廃止が大きく影響します。左表と同じ条件では、年間17,600円もの実質増税となります。(1月の給料から実施) また、今年から、所得税の一部を個人住民税へ移す、いわゆる税源移譲が行われます。全体の税負担は変わりませんが、所得税の減少が1月から始まるのに対して住民税の増加は6月の給料から実施されるため影響が出る時期にズレが生じることとなります。



横浜市議員(旭区)

こが ゆ 康 弘

民主党の主張 → サラリーマン狙い撃ちの増税にNO!

市民の視点から。

昨今の税制改正ではどの見直しがどんな影響を与えるのか説明不足であるため、高齢者やサラリーマンなどから、「なぜこんなに税金が上がるのか!」「間違いではないか!」という声が聞こえます。私たちの暮らしに直結する「税制」。「改悪」にはしっかりとNO!とすることがあります。

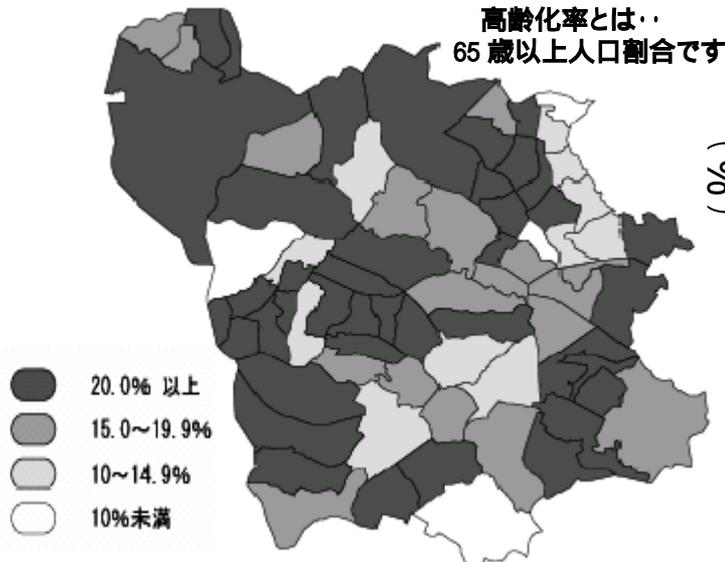
今後は、私たち自身が税金に関するしくみや今後の税制改正への関心を高めていくとともに、税金の使い道=行政に対するチェック機能をこれまで以上に高めていくことが必要です。



旭区の高齢化が更に進みました！

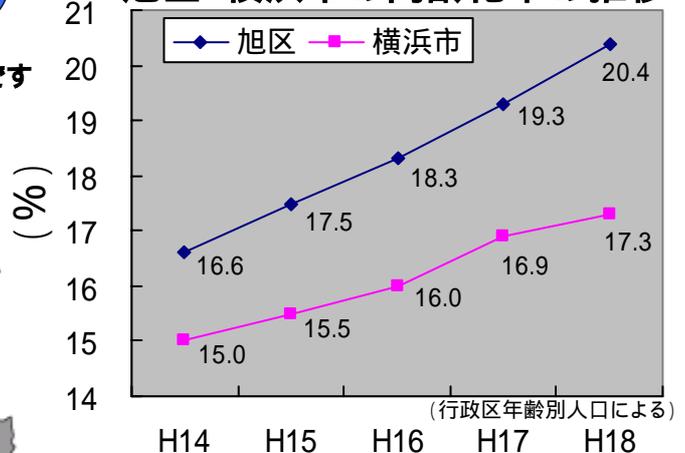


町別老年人口比率(高齢化率)



※平成18年9月30日現在 (旭区区勢概要2007より)
 (住民基本台帳、外国人登録人口による集計)

旭区・横浜市の高齢化率の推移



旭区高齢化率ベスト5 (平成18年9月30日現在)

順位	町名	高齢化率(%)
No.1	中沢3丁目	33.7
No.2	今宿1丁目	31.5
No.3	万騎が原	30.4
No.4	小高町	28.8
No.5	笹野台2丁目	27.9

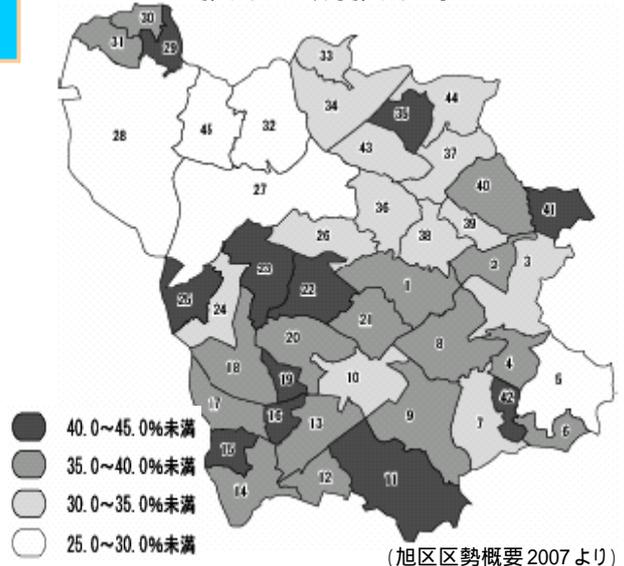
旭区の老年人口数(高齢者数)は市内18行政区中第1位です。高齢化率は南区についで2位であり、これから更に高齢化が進むと予想されています。今後は老人福祉・保健施設の充実など、高齢者福祉施策を他の区に先駆けて実施する必要があります。

統一地方選挙の日程決まる！

- 政令市議(横浜市・川崎市)・県会議員
告示: 3月30日 投票: 4月8日
- 県知事選挙
告示: 3月22日 投票: 4月8日

右図は昨年3月に行なわれた、市長選挙での投票率の分布です。平均でも36.07%と50%にも及びませんでした。近年の選挙では低投票率が深刻化しています。地方自治を取り巻く環境が大きく変化の中で、私たちの思いを代弁してくれる議員・首長を自らの意思で選ぶことは大変重要です。あなたの1票で政治は変わります。ぜひ、投票に行きましょう！

投票区別投票率



<http://www.kogayu.net>

こがゆ

検索

Profile



昭和42年 横浜市鶴見区に生まれる
 平成4年 早稲田大学大学院 理工学研究科(修士課程)修了
 平成4年 三菱重工業(株)入社
 平成7年 結婚(現在、3児の父)
 平成17年 民主党神奈川県第6総支部 副幹事長
 平成18年 旭区補選で初当選、現一期

趣味
 読書、釣り、模型製作、スポーツ全般の観戦

資格
 コンクリート技士、1級土木施工管理士...

小さなことでも
 気軽にご相談下さい！
横浜市議員(旭区)

こがゆ康弘

ご連絡は下記までお願いいたします
住所: 旭区二俣川1-5(事務所)
電話(FAX): 045-366-9381
メール: info@kogayu.net

